

ロボカップジュニア『ジャパン・オープン2016』に出場して

私がロボットを始めたのは中学3年生で、小学5年の弟と一緒に理科離れをなくす会の先生に教えていただきました。

そこで大会があることを知り、訳もわからずとりあえず滋賀ノードに弟とペアを組み出場しました。結果は5位。京滋奈ブロック出場が決まりました。

しかし、そこでは惨敗。大会の楽しさと悔しさを知り、それから毎年滋賀ノードから挑戦しました。2年目は初めてのジャパンオープン7位。3年目、ライトからBオープンに変更。2度目の日本大会で12位。昨年は受験のため出場しませんでした。

そして4年目の2016。弟と、ロボット教室で知り合った友達の3人チームで出場。私はジュニアの年齢制限のため最後の挑戦になります。

京滋奈ブロック2位、ジャパンオープン19位という結果で終わりました。

今まで経験してきた大会は、予選リーグで4または5チームを1グループとし、各グループで総当り戦を行い、各グループ上位2チームが決勝リーグにあがります。その決勝リーグでは勝ち残り式トーナメント形式で戦い、それによって順位が決められていました。

しかし今回のサッカーオープンは、スイス式トーナメントという形式で行われました。

これはくじ引きで初回対戦相手を決め、その対戦結果に基づいて順位を並べ、二回戦以降の対戦相手を1位対2位、3位対4位・・・31位対32位となるように対戦を決めるということを2日間で合計6回行い、その結果で順位を決めるというものです。

今回はジャパンオープン大会であるため海外からもチームが来ていました。サッカーオープンではFrantic Robotというチーム名でマカオから1チーム来ていました。彼らのチームのロボットは全てにおいて完璧で圧勝でした。

ロボットとは超音波センサー6個、方位センサー1個、ドリブラー、円形に等間隔で並べられたボールセンサー、ライセンサーが十字に配置、モーター4個、32bit ARM マイコン、台はすべてCFRP(炭素繊維強化プラスチックいわゆるカーボン)というロボットでした。速度とパワーはもちろんすごいのですが、その状態でも基礎が完璧で、ドリブラーによるボールのバックスピンの使ったシュートが印象的。他にも2台の連携したような動きや、ボールと自分の位置を正確に把握することによってできるロボットを避けているような動き等、素晴らしいところがたくさんありました。

